

2016年5月10日

カナダ・カルガリー大学受け入れ報告書

文責：山口文香

1. 概要

カルガリー大学教員から本学広報課を經由して SAGE に依頼があり、カルガリー大学の訪日プログラムの一環として東工大訪問のアレンジをした。土木・環境工学系の高橋先生による研究室紹介、TSUBAME 見学後、第一食堂で昼食をとった。

2. 日程

2016年5月10日(火)

3. 参加者

カナダ・カルガリー大学より学生 31 名、引率教員 1 名
SAGE より 2 名、キャンパスガイド未登録の協力者 1 名

4. 当日の活動

時刻	内容	場所
09:30	集合	正門前
09:45	東工大紹介	
10:00	研究室見学(高橋研、佐々木研、吉村・藤井研)	緑ヶ丘 6 号館、2 号館
11:00	TSUBAME 見学	学術情報センター
12:00	昼食	生協第一食堂
12:30	買い物	生協購買部

5. 感想

今回の受け入れは平日午前のため、受け入れ人数に対して人数が少なく苦勞する場面も多かった。研究室見学では学生の質問も活発に行き交い、引率の先生による補足にも熱が入り、予定より時間を食ってしまった。4つのグループに分かれて実験設備を見学したが、時間が押している中、終わったグループから順次 TSUBAME に向けて移動してしまったので学術情報センターの職員方にご迷惑をおかけしてしまった点は反省している。移動時間等バッファをもう少し取った方がよいだろう。また、昼食を本学で食べて行きたいという希望により、第一食堂での昼食を計画したが、4限の授業が終わ

り混雑する前に終わらせるという制約のため、TSUBAME の見学を予定より早く終わらせて頂いた。職員方にはひたすら感謝しかない。専門外の話であったためか、短い時間でも見学者の満足度は高そうであった。

最後に、見学中は授業時間中であまり見かけない大学生の様子も見るべく第一食堂で食事にしたが、注文や支払いで混乱があり、少人数のスタッフで対応するのが大変だったので、今後大人数の受け入れでは弁当やオードブルで対応しようと思う。対応中、食堂の英語表示の不充実さや、ヴィーガン対応メニューのなさに気付かされた。ハラル対応は行われてきたが、まだまだ食堂の国際化の余地があることを感じた。

途中、待たせたりバタバタする場面があったが参加者には概ね楽しんでいただけたように思う。今週は受け入れ案件が 3 件あり喜ばしい限りだが、一つ一つの受け入れをルーティン作業にしてしまうのではなく、おもてなしの心を忘れぬようにしたい。

